

製品安全データシート

会社名: コダック株式会社
 担当部門: コンシューマービジネス事業部
 所在地: 東京都千代田区神田駿河台2-9 (〒101-0062)
 電話番号: 03(5540)9000 FAX: 03(5540)2253

緊急連絡先: (財)日本中毒情報センター【中毒110番】
 (事故に伴い急性中毒の恐れのある場合に限る)
 9時から17時まで: 0990(52)9899 (ダイヤルQ2有料)
 又はダイヤルQ2を利用できない医療施設の場合は 0298(51)9999
 これ以外の時間帯: 0990(50)2499 (ダイヤルQ2有料)
 又はダイヤルQ2を利用できない医療施設の場合は 06(6878)1232

MSDS No.Z17000000628/Version: 1.2

承認日: 2006年6月8日

作成日: 2007年12月4日

1	製品名		
コダック プロフェッショナル カラー デベロッパー リプレニッシャー, プロセス E-6, パートB			
		CAT No.837 2542	5ガロン用

2	危険・有害性の分類		
<p>危険: 4-(N-エチル-N-2-メタンスルホニールアミノエチル)-2-メチルフェニレンジアミンセスキサルフェートモノハイドレート (CD-3), 亜硫酸水素ナトリウムを含有。</p> <p>二酸化硫黄を遊離する。 吸入すると有害。 蒸気は眼、呼吸器系を刺激する。 眼、皮膚に炎症を起こす。 皮膚にアレルギー反応を起こすことがある。 飲み込むと有害。 動物実験によると腎臓に障害を起こす可能性がある。</p>			

3	物質の特定		
混合物			
(パートB)			

成分	重量%	CAS No.	PRTR政令番号
水	75-80	007732-18-5	
4-(N-エチル-N-2-メタンスルホニールアミノエチル)-2-メチルフェニレンジアミンセスキサルフェートモノハイドレート (CD-3)	15-20	025646-71-3	
亜硫酸水素ナトリウム	1-5	007631-90-5	
1,2-ビス[(2-ヒドロキシエチル)チオ]エタン	<1	005244-34-8	

4	応急措置
吸入した場合	: 症状が出たら、空気の新鮮な場所へ移動する。症状が続くならば、医療手当てを受ける。
眼に入った場合	: 直ちに、多量の水で15分以上洗浄し、医療手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	: 直ちに、付着した衣類、靴などを脱ぎ、多量の水で15分以上洗浄する。症状が出たら、医療手当てを受ける。汚染した衣類、靴は良く洗って使用するか、廃棄する。
誤飲した場合	: 医師の指示に従い吐く。被災者に意識のない場合には、口から何も与えてはならない。直ちに医師に連絡する。
5	火災時の措置
消火手段	: 水スプレー、二酸化炭素(CO ₂)、粉末消火剤
火災時の特別対応手段	: 保護衣と呼吸用保護具を着用する。火災や過度の熱により、危険な分解物質を生じることがある。
有害燃焼物質	: 一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物(NO _x)、硫酸化物
異常火災/爆発の危険性	: なし
6	漏出時の措置
多量の水で洗い流すか、不活性物質に吸収させ化学物質廃棄用の容器に回収する。漏洩箇所を十分に拭きとる。	
7	取扱い及び保管上の注意
取扱い	: 蒸気の吸入を避ける。眼、皮膚、衣類に付着させない。適度な換気をする。取扱い後は、十分に手などを洗う。非アルカリタイプ(酸性)のハンドクリーナーを常用する、作業場を清潔に保つ、手袋の着用により皮膚への付着を最小限にする。
火災や爆発の防止	: 酸化物質に接触させない。
保管	: 密栓して保管する。不適合物質から離して保管する。
8	暴露防止措置
許容濃度	: ACGIH(TLV) メタ重亜硫酸ナトリウム: 5mg/m ³ TWA 二酸化硫黄: 2ppm TWA, 5ppm STEL イーストマンコダック社の産業衛生ガイドライン 4-(N-エチル-N-2-メタンсульフォニールアミノエチル)-2-メチルフェニレンジアミンセスキサルフェートモノハイドレート (CD-3): 1mg/m ³ TWA OSHA (USA) (PEL) 二酸化硫黄: 5ppm 13mg/m ³
換気	: 換気の良い場所で取扱う(10 air changes/時間)。換気率は使用条件に適合しなければならない。換気の悪い場所、広い箇所からの蒸発、スプレー加熱による蒸発が生じる場所などの特殊な環境では補助的な局所換気や閉鎖システム、呼吸用保護具が必要となることがある。
呼吸器系の保護	: 空中に散布した粉末を機械的に許容値まで制御できない場合には、認定されたマスクをつける。 マスクのタイプ: 酸性ガス
眼の保護	: 側板付き眼鏡またはゴーグル型保護鏡の着用。

皮膚の保護 : 暴露の危険性を防止するために不浸透性の手袋と適切な保護衣を着用する。
 浄化する設備 : 洗眼、身体洗浄の設備(シャワー)を推奨する。

9 | 物理・化学特性

外観 : 液体
 色 : 淡褐色
 臭気 : 二硫化硫黄の臭い
 沸点 : >100°C
 蒸気圧 : 24mbar(18mmHg) / 20°C
 蒸気密度(空気 = 1) : 0.6
 揮発留分(重量) : 75-80%
 比重(水 = 1) : 1.08
 pH : 1.4
 水溶性 : 完全
 引火点 : なし(不燃性液体)

10 | 危険性情報(安定性・反応性)

安定性 : 安定
 不適合物質 : 塩基、強酸化剤
 危険分解物質 : 硫黄酸化物
 危険重合物質 : なし

11 | 有害性情報(暴露の影響)

一般的な注意:
 内容物: 4-(N-エチル-N-2-メタンスルホニールアミノエチル)-2-
 メチルフェニレンジアミンセスキサルフェート 動物実験によると腎臓に障害を起こす可能性がある。

吸入 : 蒸気は刺激する。呼吸器系に刺激性の二酸化硫黄ガスが発生する。喘息のある者や過敏な者は呼吸困難になることがある。
 眼 : 炎症を起こす。
 皮膚 : 炎症を起こす。皮膚にアレルギー反応を起こすことがある。
 誤飲 : 飲み込むと有害。喘息あるいは亜硫酸塩過敏症の人は、喘息症状、息苦しさ、胃の不快感、発疹、失神、虚弱、下痢を起こすかもしれない。

急性毒性情報

4-(N-エチル-N-2-メタンスルフォニールアミノエチル)-2-
 メチルフェニレンジアミンセスキサルフェートモノハイドレート (CD-3)に関するデータ
 LD-50(経口、雄ラット): 400mg/kg(標的臓器:腎臓)
 LD-50(経口、雌ラット): 246mg/kg
 LD-50(皮膚): >1,000mg/kg(最高試験用量)
 皮膚刺激: 軽度
 皮膚への反復塗布刺激: 中庸
 皮膚感作: 中庸
 皮膚感作(ヒト): 認められる
 眼刺激(洗浄しない場合): 中庸
 眼刺激(洗浄した場合): 軽度

以下のセクションでの略語:

LOEL=影響が認められる最小濃度
 NOAEL=副作用が認められない濃度
 NOEL=影響が認められない濃度

発癌性情報 経口試験(2年、ハムスター):
 NOEL=食事中0.04%(最高試験用量)
 皮膚試験(2年、マウス):
 NOEL=62 mg/kg(試験用量のみ)

12 | 環境影響情報

(この項は、輸送中の不慮の事故などにより発生した漏出時の対応について述べるもので、下水道などに排出するための情報ではありません。)

本品の主成分に関するデータに基づいて本品の環境へ及ぼす影響を推測していますが、実際には試していません。以下の特性は、予測に基づいたものです。

予測される有害性:
 魚 LC50: <10mg/L
 ミジンコ EC50: <100mg/L
 海藻 IC50: <100mg/L
 生分解性有機物: なし
 蓄積性: Log Pow<1
 COD(概算): 205g/L
 BOD(概算): 20g/L

13 | 廃棄時の注意

パートBを未使用のまま単独で廃棄する場合:特別管理産業廃棄物に該当する。特別管理産業廃棄物処分免許を持った処理業者に処理依頼する。
 パートAとパートBを混合して、補充液、使用液の状態で廃棄する場合:特別管理産業廃棄物に該当しない。
 自社で廃水処理設備を所有していない場合には、全量を回収した上で専門の廃液処理業者に委託して処理する。

廃棄時に該当する法規

廃棄物処理法(廃酸)
 水質汚濁防止法 : 生活項目
 下水道法 : 下水の排除の制限

14 | 輸送上の注意

Air Transportation : _____
 Class : 8
 国連番号(UN Number) : UN3265
 Proper shipping name : Corrosive liquid, acidic, organic,
 (4-(N-ethyl-N-2-methanesulphonylaminoethyl)-
 2-methylphenylenediamine sesquisulphate monohydrate)
 Subsidiary risk : _____
 Packing group : III
 Passenger aircraft : Transport forbidden(航空禁止)
 Cargo aircraft only : Transport allowed
 Further information : Can go by air but needs additional work before going by air.

15 | 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法) : _____
毒物劇物取締法 : _____
労働安全衛生法 : _____
消防法危険物分類 : _____

16 | その他

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、上記の内容は補足の情報と見なし、取り扱いには十分注意して下さい。